

(社) 日本原子力学会
第 53 回倫理委員会議事要旨

日 時 H22.11.17(水) 9:30~12:00
場 所 福井工業大学 福井キャンパス FUTタワー15階 多目的会議室
出席者 北村委員長、大場副委員長、作田幹事、小澤委員、中野委員、萩原委員、
平野委員、宮越委員、三好委員、山本理事 (10名、委員名簿順)
中安氏 (傍聴者)

配布資料

- 資料 53-1 第 52 回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料 53-2① 2011 年春の年会 倫理委員会企画セッション提案書
- 資料 53-2② 2011 年春の年会 倫理委員会企画セッション講演依頼 (福井新聞社)、
(兵庫県立がんセンター)
- 資料 53-3 第 14 回倫理研究会案内 (案)
- 資料 53-4 10 周年記念行事について
- 資料 53-5 (欠番) 中国電力への今後の対応について (資料なし)
- 資料 53-6① ICONE19(5/16-19,2011,幕張)倫理セッションの準備状況
- 資料 53-6② ICONE19 Frame of Program
- 資料 53-7 倫理ケースブック 3 の販売および在庫の保管について
- 資料 53-8 技術倫理協議会第 6 回公開シンポジウムについて

議事

1. 資料 53-1 により前回議事要旨 (案) を確認し、項目 8 のアンダーラインの削除、項目 15 の作田委員を作田幹事に修正することで、(案) をとることとした。また、萩原委員は理事会(10/1)において委員就任が正式に承認されたことを確認した。
2. 資料 53-2①②により中野委員から 2011 年春の年会倫理委員会企画セッション提案書および講演依頼文についての説明があった。医療分野からは臨床の立場における患者とのコミュニケーション・説明責任を、報道分野からはいかに真実を伝えるかというマスコミとしての説明責任をテーマとすることで了承された。今後、担当の中野委員、作田幹事が講演者と調整をすることとなった。また、セッション開催日は 3/29 で申請しているが、講演者の都合がつかない場合は、講演をひとつに絞り、学会としての見解を発信するなどコメントを設定し、十分な議論が行えるように配慮することとなった。また、学会誌への紹介記事作成のため、年明けには企画セッション内容を見直しておくこととした。(委員会後、提案書の最終締め切りが 12/22 との案内があったため、それに向けて講演者・講演タイトルを調整することとした) 依頼文中の「啓蒙」は「浸透」に、「技術者倫理」は「技術倫理」に見直すこととした。

3. 資料 53-3 により作田幹事から第 14 回倫理研究会案内（案）の説明があった。ケース・スタディ時には倫理委員も各グループに入ることとした。
4. 資料 53-4 により平野委員から 10 周年記念行事のうち倫理規程浸透度調査について説明があった。調査のねらい、方法論について、倫理委員全員で考えていく必要がある。今後、本調査で何を測るのか、具体的なイメージを平野委員に連絡することとなった。また、方法論については、①案：春または秋の大会でアンケート調査紙を回収、②案：学会誌にアンケート回答のためのホームページ・アドレスを記載し、回答していただく、または回答はがきを差し込む、などの意見が出されたが、事務局業務の負担や個人情報の扱いなどの課題も考慮しながら、今後とも継続して検討していくこととなった。
5. 大場副委員長から中国電力への今後の対応について説明があった。今後、大場副委員長が対応案を作成し、12 月中にメール審議を終了する予定で進めることとなった。
6. 資料 53-6 により山本理事から ICONE19(5/16-19,2011,幕張)倫理セッションの準備状況および **Frame of Program** の説明があった。倫理セッションの開催にあたっては、倫理委員会としても協力することを確認した。倫理セッションへの参加者は、旅費が出ないので ICONE に参加される方の中から選任することが合理的であり、中国、韓国、米国、欧州、日本（2 名）の参加が、バランスが良いとの意見が出された。
7. 資料 53-7 により大場副委員長から倫理ケースブック 3 の販売および在庫の保管について説明があった。事務局保管数を上回る 1,416 部については、できる限り早く販売したい。各委員は、より一層の販売を心がけ、1 月度の倫理委員会時には、ひとり 10 冊のケースブックを持ち帰り、拡販活動を行うこととなった。
8. 倫理委員会参加旅費の倫理委員への支払いについて作田幹事から説明があり、原子力学会年会・大会など事務局以外の場所で倫理委員会が開催された時には、旅費・謝礼等内規に基づき委員からの請求により旅費を支払うことを確認した。
9. 資料 53-8 により大場副委員長および平野委員から技術倫理協議会第 6 回公開シンポジウムの案内があった。意義あるシンポジウムであるので倫理委員の参加を募るとともに、参加した委員は次回の委員会で紹介することとした。
10. 次回倫理委員会は、平成 23 年 1 月 13 日(木)13:30～ 原子力学会事務局で開催することとした。

以上